

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	040800	TEL	2991-1811
事業コード	母子愛育会補助事業	担当部課	保健福祉部 母子保健課			
040808		グループ	母子保健グループ			
補助開始年度		昭和	47	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

根拠法令	母子保健法、所沢市母子愛育会補助金交付要綱					
分野別計画・指針	所沢市補助金交付要綱					
関連・類似事業	母子保健地域活動事業					
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	1 地域保健活動の推進
					小柱	(2) 健康づくり組織の育成・支援
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	市民組織の自立支援		コード	コード		
1231						
補助開始の背景	事業開始当初は、妊産婦死亡率、新生児死亡率、乳児死亡率が全国的にも高い状態にあり、地域に根ざした健康づくりを目指している母子愛育班を育成することが、母子保健の向上と充実を図るための有効な方法であった。					
補助の目的	母子愛育班は、地域内全世帯を対象とした声かけ、話し合い、学習等の活動を展開している。本事業によって組織の維持・活動促進が遂行され、地域の妊産婦・乳幼児をはじめとした住民が、健康についての知識や情報を持ち、地域で健やかに過ごせることを目的とする。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	市内10地区の母子愛育班が所沢市母子愛育会に所属し、愛育会としての活動と平行して各地区で独自の活動を展開している。各班の会議や事業に、地区担当保健師が出席し、活動の運営について助言を行っている。また、各種会議、研修会、健康まつり等への参加や他団体主催の事業への協力を行う等、保健師と連携して子育て支援の役割を担っている。					単位

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 21 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		320	320	320
	補助額決算 (見込み含む)		320	320	
	臨時職員賃金	人		人	
	正規職員人件費	0.64 人	5,888	0.64 人	6,012
	事業費合計		6,208	6,332	
	市民一人当たり(単位:円)		18.4	18.7	

④指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H21見込み	将来目標
標	団体活動実績	活動延べ回数	回	450	509		
		参加延べ回数	人	6720	6525		
	成果分析	参加延べ回数	人	目標値 6000 実績 6720	6000 6525	6000	
			%	達成率	112.0	108.8	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑤一	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	各地区活動のより一層の充実を図る。	達成水準	前年把握した活動人数に対し、5~10%の向上を目指す。	時期	平成21年4月調査予定
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	若い子育て年代ほど地域住民との関係が希薄化しており、身近な相談相手が得られにくくなっている。行政における母子保健の事業だけでなく、地域住民による支援が必要となっている。平成19年度末より、乳幼児をもつ親を対象とした離乳食教室が開催され始め、またニーズの高まりとともに乳幼児救急(救命)講習の開催数も増えている。今後更なる充実が期待される。						
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	母子保健課長 小林 昌治				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	施策の体系		施策の方向		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り		計画コード	1223
	基本目標	1 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
主要課題	2 ホームタウンとしての家庭・地域づくり				
施策の方向	2 母子保健事業の推進				